



労働力確保支援 センターだより

第 35 号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
令和2年2月発行



森林作業道作設研修【初級研修】



FL 集合研修【森林整備】



森林・林業担い手育成事業【高校生資格取得】



林業就業支援講習【実地研修】



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.

目 次

令和元年度「緑の雇用」集合研修の実施……………	2	高校生に向けた資格取得の支援……………	12
林業就業支援講習（12日間）を開催……………	5	森や木に関心のある女性に向けたイベントを開催…	13
「森林（もり）の仕事ガイダンス（東京）」に参加…	8	令和2年認定林業事業体現場作業員採用計画……	14
就労者のキャリア形成に向けての取り組み……………	9	福島県認定林業事業体一覧表（流域別）……………	15
森林作業道作設研修（初級・フォローアップ）を開催…	10	福島県認定林業事業体位置図（流域別）……………	16

令和元年度「緑の雇用」集合研修の実施

「緑の雇用」事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

今年度、当センターでは林業作業士（フォレストワーカー）研修及び現場管理責任者（フォレストリーダー）研修を実施しました。

林業作業士（フォレストワーカー）集合研修

新しく林業の仕事を始めた方を対象に行うもので、OJT 研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、一人前の現場技能者になる能力を身につけるための研修です。

1 年目研修【林業作業の基本】

今年度のフォレストワーカー（以下、FW）1 年目の研修は、6 月 3 日から 11 月 22 日（補講を除く）までの期間で実施しました。1 年目の研修は、林業作業の基本となる内容を中心に講義・実習を行い、研修日数は最長で 29 日間に及びました。（研修生の既取得資格等により異なる。）

雨の日や風の強い日、真夏の蒸し暑さの中行われた育林実習や、晩秋の風が吹く寒さの中でのチェーンソー伐倒実習など、厳しい条件下もありましたが、連日研修に励み 26 名が修了しました。

◎研修中に取得する安全講習等

- ・刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育
- ・伐木等の業務にかかる特別教育（チェーンソー作業）
- ・玉掛け技能講習
- ・網罟わな罟講習
- ・小型移動式クレーン技能講習
- ・普通救命講習



初日の講義に集まった研修生、計30名



安全講習等（普通救命講習）



造林作業の実習



刈払機のメンテナンス実習



森林調査・測量の実習



チェーンソーによる伐倒作業の実習

2 年目研修【1 年目の内容の確認・応用】

今年度の FW 2 年目の研修は、6 月 11 日から 11 月 28 日（補講を除く）までの期間で実施しました。取得済みの資格等によって違いはあるものの研修日数は最長で 22 日間に及び、23 名が修了しました。

2 年目の研修は、主に 1 年目に行った内容のフォローアップを行うもので、造林や育林、チェーンソーによる伐倒・造材・集材作業の応用、また、かかり木等処理の研修などを行いました。

◎研修中に取得する安全講習等

- ・走行集材機械特別教育
- ・機械集材装置の運転に係る特別教育
- ・車両系建設機械運転技能講習
- ・不整地運搬車運転技能講習
- ・荷役運搬機械等によるはい作業従事者に対する安全教育



初日の講義に集まった研修生、計29名



造林作業の実習



チェーンソーのメンテナンス実習



森林調査（GPS 測量）実習



育林作業（下刈）の実習、作業に向かう研修生



森林整備（間伐）実習

3年目研修【基礎力の向上・大型機械を使用した林業作業】

FW 3年目の研修は、6月19日から11月29日（補講を除く）までの期間で実施しました。取得済みの資格等により違いはあるものの研修日数は最長で20日間に及び、27名が修了しました。

3年目の研修は、1年目・2年目で学んだ林業作業の基本力の向上を目指す内容で、高性能林業機械による作業実習やメンテナンス実習、木材市場・加工施設の見学や森林作業道作設の研修等を行いました。

◎研修中に取得する安全講習等

- ・伐木等機械の運転業務に係る特別教育
- ・簡易架線集材装置等の運転業務に係る特別教育



安全講習 伐木等機械・簡易架線集材装置講習（学科）



フォワーダによる集材作業実習



スイングヤーダによる集材作業実習



ベースマシンのメンテナンス実習



木材市場の見学



木材加工（集成材）施設の見学



林業機械のメンテナンス実習



森林作業道作設実習



実習最終日、全員で記念写真

現場管理責任者（フォレストリーダー） 集合研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方を対象に行うもので、判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけるための研修です。

フォレストリーダー（FL）研修

フォレストリーダー（以下、FL）研修は、10月2日から12月11日までの期間で実施しました。研修日数は最長で16日間（既取得の資格等により異なる）に及び、19名が修了しました。

FL研修は、林業の就業経験が5年以上の方を対象に行われるため、林業に対する基本的知識・技能を習得していることを前提に、研修内容はFW研修の内容の復習・高度化が主体となっています。

◎研修中に取得する安全講習等

- ・造林作業の作業指揮者等に対する安全衛生教育
- ・はい作業主任者技能講習
- ・地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習



初日講義の様子



収穫調査の実践、現地研修



収穫調査の実践、データ分析



生産性向上のための作業システム、現地研修



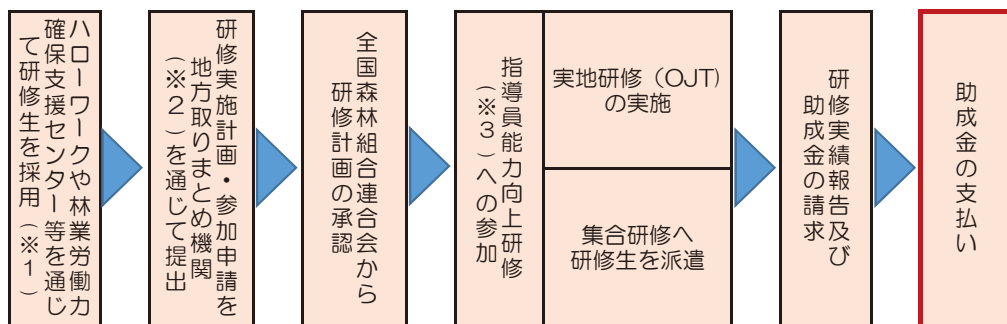
生産性向上のための作業システム、室内研修



目標林型に向けた施業方法、現地研修

申請から支給までの流れ（全国森林組合連合会「緑の雇用」事業リーフレットより）

認定事業体の皆様が「緑の雇用」事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請を提出しなければなりません。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



※1 トライアル雇用と林業作業士（FW）研修（1年目）（トライアル雇用から引き続きの場合を除く）のみ

※2 本県では福島県林業労働力確保支援センター、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合があります。

※3 本県では福島県林業労働力確保支援センターが行っています。

●●●指導員について●●●

実地研修（OJT）を統括的に管理・指導するため、各事業体で指導員を選任の上、研修指導を行います。

——— 指導員の資格 ——— ①または②に該当する者

- ①FL研修もしくはFM（フォレストマネージャー）研修の修了者
- ②以下のa～cすべてを満たす者
 - a 伐木等の業務に係る特別教育及び刈払機取扱作業者に対する安全衛生教育の修了者
 - b 林業就業経験が通算3年以上の者
 - c 指導員能力向上研修の修了者

林業就業支援講習(12日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、令和2年1月20日(月)から2月5日(水)までの土日及び1月24日(金)を除く12日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方を対象に、森林や林業に関する基本的な知識等の講義や刈払機・チェーンソー・小型車両系建設機械(3t未満)の資格取得、林業事業体での林業作業実地講習、木材市場・木材加工施設の見学等のカリキュラムを行いました。

今年度の受講者は男性のみ7名で、福島県内及び北海道、宮城県、東京都、神奈川県からの参加者となりました。

1日目

講習のカリキュラム

日 程	時 間	内 容	講師の所属組織または視察場所	実施場所
1日目	1月20日(月)	9:30~10:30	オリエンテーション	ビッグパレット ふくしま 小会議室3 (郡山市)
		10:30~11:00	林業と山村地域の現状について	
		11:00~12:00	主な林業樹種とその特性などの森林生態について	
		13:00~14:00	木材の育成作業と森林の管理方法について	
		14:00~15:00	森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展について	
		15:00~16:00	作文「なぜ林業の仕事希望したのか等」	
2日目	1月21日(火)	9:00~14:00	救命措置(救急訓練法)	日本赤十字社 福島県支部
		14:00~15:30	林業における労働災害の現状と安全衛生対策	林業労働安全協会福島県支部
3日目	1月22日(水)	7:50~17:00	チェーンソー資格講習	本宮・田村自動車学校 建機講習所 (本宮市)
4日目	1月23日(木)			
5日目	1月27日(月)	7:40~16:00	刈払機資格講習	南湖建設機械講習所 郡山講習センター (郡山市)
6日目	1月28日(火)	7:40~16:30	小型車両系建設機械(3t未満)資格講習	
7日目	1月29日(水)	7:40~15:30		
8日目	1月30日(木)	9:00~16:00	林業作業の実地講習	ふくしま中央森林組合 岩瀬事業所 (須賀川市)
9日目	1月31日(金)			
10日目	2月3日(月)			
11日目	2月4日(火)			
12日目	2月5日(水)	8:30~12:00	林業関係施設等の見学	郡山市内
		13:00~14:30	講演「林業就業を志すために必要なこと」	五十嵐保雄氏
		14:30~16:30	林業への就職相談・現場作業による生活相談等 アンケート記入	福島県林業労働力 確保支援センター
			林業就業者等への質問相談	林業就業支援地域アドバイザー 松本 照之氏(南松本林業)

開講式・オリエンテーションに引き続き、林業の基礎知識として、「林業と山村地域の現状について」等の講義を、当センターの職員が行いました。



三浦事務局長の挨拶



講義の様子(近藤次長)

2日目

2日目は、前日と同じく郡山市のビッグパレットふくしま小会議室3において、日本赤十字社福島県支部の講師から「救命措置(救急訓練法)」について、また林業労働安全協会福島県支部の講師から「林業における労働災害の現状と安全衛生対策」を、それぞれ学びました。



救命措置の講義



労働災害の現状と安全衛生対策の講義

3～4日目

3～4日目は本宮市にある本宮・田村自動車学校建機講習所にて伐木等機械の資格講習を受講しました。



チェーンソーによる伐木（玉切り）の講習



チェーンソー伐倒の講習



目立ての講習

5日目・6日～7日目

郡山市にある南湖建設機械講習所郡山講習センターにおいて、5日目に刈払機の資格講習を、6日目～7日目には小型車両系建設機械（3 t 未満）資格講習を受講しました。

8～11日目

8日目から11日目は、ふくしま中央森林組合岩瀬事業所にご協力をいただき、現場等をお借りして実地研修を行いました。研修内容は広範囲におよび、さまざまな経験を積んで頂くことができました。



室内研修の様子



林内での測量実習



PC を利用した測量図面作成の実習



チェーンソー操作の説明を受ける



チェーンソー伐倒の実習



森林作業道作設の研修（現地踏査）

12日目（午前）

県内の林業関係施設等の見学として、郡山市にある「郡山地区木材製材協同組合」及び「株式会社オノツカ集成材工場」、CLT 等を利用して作られた「郡山ヘアメイクカレッジ」を訪れました。



木材市場の見学



㈱オノツカ集成材工場の見学



郡山ヘアメイクカレッジ研修室の見学

12日目（午後）

初日・2日目と同じ郡山市のビッグパレットふくしま小会議室にて、講話、相談及び12日間の講習の総括、修了証の交付等を行いました。

はじめに、五十嵐保雄氏による講話「林業就業を志すために必要なこと」を聴講したのち、平成30年度に「緑の雇用」を修了しフォレストワーカーとして活躍している(有)松本林業の松本照之氏と、当支援センター所属の林業就業支援地域アドバイザーによる林業への就業・生活相談を行いました。

最後に12日間の講習の総括を行い、修了証の交付となりました。

研修生による作文（原文より抜粋）及び修了者アンケートの感想（原文まま）

作文タイトル：「森林・林業に係ること」

母なる地球という言葉をよく耳にするが、地球上に生きとし行ける者たち全てに対する、その母の愛情の現れが「緑」なのではないかと私は思う。草々の繁殖する力と速さは眼を見張るものがあり、我々生くる者たちに対する愛情の強さと深さが現れているように思われる。山々の森林の緑もやはりその現われの一つなのではないか。

だが我々人間はその愛情を無意識、無自覚に食いつぶして来てしまった。最近、異常気象や自然災害が頻発するのは、我々人間のそういう勝手我儘な行為が生み出したものなのではないか。ある漁師は、漁獲量の減少は山々の衰退に原因があることをつきとめ、海を豊かにするためには、まず山々を豊かにしなければと森林の働きや仕組みを研究し、植林などの活動をしているそうだ。

すべての自然は一体なのだと思ふにつくつく考えさせられるとともに、自分もまた、母なる地球の愛情を胛かじりのように浪費してただけであったことに気づかされ、林業という職業に目を向けるようになった。そしてこの文章を書いている今、いや増して林業の興隆とそれに携わることの大事さを感じている。是非とも林業に携わり緑あふれる地球を復活させる仕事をしたいと願う。

修了者アンケート：もっと実作業をできる時間を作ってほしい。

作文タイトル：「なぜ職業として森林整備の仕事を希望」

私が林業の仕事を選んだのは、若い時に将来、自然の中で仕事がしたい気持ちがあった。現在の仕事に対する熱意がなく、目に止まった「森林の仕事ガイダンス」の開催を知った。

そこで、林業の現状が知りたく参加させていただき、私よりも若い方が林業の仕事に従事していることに驚いた。正直、私は50歳になります。体力的に仕事ができるのが雇用があるのか心配だったが、相談ブースで話を聞くと「50歳はまだ若い」ですよと言われ、それならば、今回が最後のチャンスだと思い、若い時に林業の仕事をしたい思いを叶える為に、今回、林業就業支援講習の受講に応募させていただいた。

林業の仕事は、山での作業なので作業環境は今までと仕事とは違い厳しいと思うが、山を守る、森林を育てる仕事に生きがいを感じている。最近、自然災害で山が崩れるテレビを観ると悲しい思いが。以前、テレビで山が崩れる理由のひとつに山の整備がなされてない山崩れが起きやすくなることと知り、50歳になる私が、この先、何年仕事ができるかわからないが、少しでも森林を整備して貢献できればと思う。

そして、林業の担い手、若い方にもっと来てもらう為に何をすればいいかを色々考えていきたいと思う。

修了者アンケート：チェーンソーの実技を増やしてもらいたいかなと思う。

作文タイトル：「森林・林業に就業するにあたっての抱負、心構え」

林業は危険と隣り合わせの職業だと思う。その危険性を十分に理解し、どう向き合っていくのか、その中で林業の魅力や面白さ、難しさを見つけていきたいと考えている。

現在私は、消防官として働いている。この仕事は災害時や事故現場等、多くの場面で危険と隣り合わせである。実際に危険な現場に出動する機会は多く、その中で安全管理や危機管理の意識を培ってきた。消防官として働き培ってきたこの意識は林業でも最大限に活かしていきたいと確信している。自身の体調管理や現場の環境に合わせた個人装備の準備、資器材の点検等、現場に入る前にできることも抜かりなくやっていきたいと思う。

林業は職人業だと私は考えている。木を大きく育てるために余計な枝を落としたり、自分で決めた方向へ正確に倒したり、特殊で複雑な機械を操作したりと多くの経験や高い技術が必要とされる。それらは先輩方に教わることもできるが、一番大切なのは、自ら学ぶという姿勢だと思う。今までの林業を支え牽引してきた先輩方は引退の時期を迎え、これから林業を担っていくのは私達だ。先人達から受け継がれてきた技術や考え方の中から、自分達で今まで通り守っていくもの、発展させていかなければならないものを選別していかなければならない。それらを考え、新しいことに挑戦できることは魅力であり面白さであり、難しさではないか。

これから林業をしていく中で、これまでに培った安全管理等の意識を存分に発揮させ、積極的に学ぶ姿勢を大切に、自身のスキルアップを目指しながら、林業という仕事に向い合っていきたいと思う。

修了者アンケート：講習に参加したことで基本的な知識を身につけられた。また、見えていなかった部分が見えたことで林業に対する気持ちが強くなった。短い間でしたが本当にありがとうございました。

作文タイトル：「なぜ職業として森林整備の仕事を希望するのか」

林業という職業は、今まで正直に言えば考えたことがなかった。第一次産業としての農業や漁業、そして林業と言ったように昔ながらの職業という先入観しかなかった。先入観と同時にその仕事に対して全く考える機会もなかっただろう。ただ、そんな中で、林業に対して興味を持つきっかけが偶然にもあった。

中古物件のリフォーム工事を機会に会社さんに働いていた時のこと。外部作業で庭の生い茂っている木々や雑草を刈り取る仕事が多々あった。その中でも草木を刈り取るのがやっかいな場合もあり、空き家の現場は庭が手入れもされず草木が思うまま生い茂り日陰が出来て程鬱蒼としている。そのような庭に入って草木を刈り取る時、どこから手をつけるべきか、木を切る時に枝を払ってどう方向に木の幹を落せばいいのかと試行錯誤していたところ、次第に木を切る仕事に関心して考えている自分自身があった。また庭木を刈り取ったことにより日差しが入って開けた状態になった時、このような体験をもっと本格的にやりがいを持って取り組みたいかという思いも湧いてきた。ただ庭木の伐採と林業とは比べるものにもならないだろうし、使っていた道具もレシプロンと言う電動のこぎりを使って切っていただけで、林業に対して何も知らずにやってみたいと考えるのは甘いのではないかと思う自分自身もいる。しかしその体験とおし、初めて自分自身の中で林業はどのような仕事なのか、山の中で木を切るほかにどんなことをするのだろうかという仕事内容に対して興味を持てたこと、林業を仕事にしたいと思ったことが林業への就業に近づく後押しになった。

林業を仕事にしたいと思ってから多少の準備期間を経て、今さに入りに立っている。これからの経験が無駄にしないよう一歩一歩前進出来るように励んでいきたい。

修了者アンケート：支援講習を受講して林業についての基本的なことを学べたように思えます。チェーンソーの使い方や3トン未満の重機の操作方法を教えて頂いたり、今まで触れたことのない作業が出来ることはとても新鮮でした。また実地講習では林業の現場には入れたことが貴重な体験でした。12日間お世話になりました。ありがとうございました。

作文タイトル：「なぜ林業の仕事を希望したのか」

私が林業の仕事を希望したきっかけは、前職の影響がある。前職は地元の工務店に勤め、入社当初は主に外国産材を使用していたが、徐々に国産材を使う方針が変わっていった。発注した木材を何も考えずにただ使っていたが、国産材、県産材を使うようになってから、木材がどのような所で、どのように育ててきたのか考えるようになった。

林業についてもまったく知識がなかったが、色々調べるうちに、就業者の減少や、国産材が外国産材に押されている現状を知った。しかしその厳しい中でも林業に携わっている方々のインタビューや書籍等で大変やりがいのある仕事だと感じ、また、地産地消も重要視されており、今後は環境にも配慮し、森林を育てる側の仕事をしたいと思い、希望した。

修了者アンケート：今回講習を受けて、より林業の道へ進みたいと思えました。どのような形で林業の仕事につくかはまだ検討中ですが、今後情報を集めながら山で仕事をできるように進んでいきたいと思います。今回の講師の方や関係者の方、また受講された方々も大変優しく色々な話ができて感謝しております。

作文タイトル：「いかにして森林・林業を振興していくか」

林業が産業として注目されていないのは、産業の認知がされていないので人手が集まらない。資本や知恵が集まらないからだと考える。解決策はシンプルに林業の魅力を伝え認知を高めること。では林業の魅力とは何か。いくつかあると思うが、稼げる仕事のモデルを作るのが一番良いと考える。森は日本全国にあり、そこで働き、稼ぐ（生活できる）ことは大きな魅力だと思う。古い林業のモデルを改善し、自伐や6次化などもとり入れ、誰もが生活の手段として林業を考えられるようにすることが大切だと思う。

私自身も、今日の講習を参考にしながら、他の産業や、新しいビジネスモデルを取り組みたいと考えている。苗木から製材までは50年以上かかるが、逆に言えば一生をかけられる仕事である。体を動かし、自然の中で働くことも健康のためには良いと考える。まずは40代後半の私が、生活できるモデルを作って「こんな働き方もあるよ」と発信し、参考にしたり、共感したりしてくれる人が少しでも増えていけば良いと思う。

修了者アンケート：あっという間の12日でした。充実していました。座学は辛かったですが、このおかげで資格が取れ、現場でも内容が良く分かりました。今回、参加メンバーの仲が良く、ストレスも少なかったです。メンバーが話せる機会（無料ランチなど）をやってもいいかと思います。事務局の皆さんありがとうございました。

作文タイトル：「安全な施業による林業振興」

私がこの講習を終えて作業員として山に入るにあたって何よりも直面する問題は、作業の危険さであるだろう。自分が死傷すればそこで人生が終わる。または家族を養えなくなる。仕事仲間が死傷すれば意気消沈し、山林で働くことが怖くなってしまいかもしれない。使用者にとっても労働災害となれば賠償金によって経営を圧迫し、事業体のイメージを損ねてしまう。

林業業界全体で安全が確保できれば、林業従事者の増加や定着が期待でき、技術の発展や承継が進んでいくだろう。また、異業種から参入しやすくなり、多様な新規従事者と熟練従事者の交わりによって林業に新しい切り口が生じうる。さらに、安全な環境で作業できれば、怪我による作業員の欠員を防止することができるのは当然のこと、作業計画に沿って遅れなく進めやすくなり、ヒューマンエラーを少なくすることができ、

そこで、私は労働災害を発生させない作業員となり、そして指導員となることを目指す。これには東北の山林の急峻な地形でいかに安全に作業できるかが課題となるだろう。そのためには安全意識の向上だけでなく、伐倒技術の向上が必要である。また、地帯や下刈りの丁寧な施業や適切な林道、作業道の整備によって作業環境を整えることも重要である。このような技術を学び、経験を積んでいく。安全工学等についても勉強していく。そうして林業から危険を取り除く人材になりたい。

怪我の心配なく働くことができれば、山仕事は自然を愛する者にとって最適の仕事だろう。収入面についても十分とは言えないのが現状であるが、まずは安全性を高めて従事者が働けなくなるような事態を回避し、また世間の危険な仕事のイメージを払拭し、林業を振興していくのが急務である。

修了者アンケート：資格が無料で取れたのは有り難かったです。講習を進めていくなかで、もっと林業について勉強したい、技術を磨きたいという意欲が高まるような内容でとても充実していました。外作業がもっと多い方がいいと感じました。

「森林(もり)の仕事ガイダンス(東京)」に参加

林業への就業に関心のある方に向けて、森林の仕事を紹介する「森林(もり)の仕事ガイダンス」が、全国森林組合連合会の主催により、東京・大阪の2会場で開催されました。

毎年開催されているイベントで、今年度も各都道府県の就業相談担当者が集結し、林業への就業希望者に相談を行いました。

福島県も東京会場に参加し、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

東京会場（令和元年10月26日、東京国際フォーラム）

東京会場でのガイダンスは、令和元年10月26日(土)午前11時から行われ、これまでで最多の41都道府県の林業労働力確保支援センター等が参加し、各県の相談ブースが設けられました。

主催者発表によると、来場者は学生や転職を検討している家族連れなどおよそ1,000名とのことです。

本県には13名の相談があり、本県の森林林業や林業の仕事に関する概況等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。相談人数は昨年、一昨年をやや下回ったものの、早期の就業を考えている方や、林業就業支援講習の受講を考える方等も相談に訪れ、熱心な質疑応答が続きました。



本県ブースの相談状況①



本県ブースの相談状況②



本県ブースの相談状況③

ガイダンスでは、オリエンテーションコーナー、全国森林組合連合会の相談ブース、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、チェーンソーや防護衣、防護靴などの展示、各県の大学校や情報誌の配布コーナーなどが設けられ、沢山の方々が訪れていました。

また、会場に設置されたステージ上では、女優の葛城奈海さんの進行による「フォレストワーカートークショー」「フォレストリーダートークショー」も行われ、全国各地で活躍中の研修生との軽快なトークで会場を盛り上げていました。

東京会場では今回初の試みとして、テーマ別のミニトークショーも開催され、「働く環境」「就活」「移住」「40代からの転職」の4つのテーマを設け、現役のフォレストワーカーを交えてインタビュー形式で行われ、小規模ながら毎回多くの方が足を止め参加されていました。

「緑の雇用」研修生コーナー及びミニトークショーには、本県で活躍している「緑の雇用」3年目研修生の佐藤盛人さん（相馬地方森林組合）も参加し、就業希望者への相談に応じたり、トークショーでのインタビューや質問に答えたり活躍されていました。



緑の研修生交流ブースの様子(中央奥が佐藤さん)



ミニトークショーの様子(左奥が佐藤さん)



各県による相談ブースの様子

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進しキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として、「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

森林（もり）づくり研修会の開催

令和元年12月3日(火)13時30分より、郡山市の「ビッグパレットふくしま」小会議室2・3において、県内の林業事業体及び林業関係者に向けて「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

今回は、『林業事業体は持続可能な森林・林業の実現にどう取り組むべきか』と題して、宮崎県のNPO法人「ひむか維森（いしん）の会」より藤掛一郎氏（顧問、宮崎大学農学部教授）、松岡明彦氏（代表理事、㈱松岡林産社長）、山下史洋氏（副代表理事、木脇林業㈱社長）を迎えて講演いただきました。

また、事例報告として「いわき市森林組合」の田子英司氏（代表理事組合長）に、モデル的取組について発表いただきました。

参加者は、事業体・森林組合の職員、林業団体職員、県市町村等を含めて計48名となりました。



講師 藤掛一郎氏（NPO法人ひむか維森の会）



講師 松岡明彦氏（NPO法人ひむか維森の会）



講師 山下史洋氏（NPO法人ひむか維森の会）



事例報告 田子英司氏（いわき市森林組合）



研修会の様子



質疑応答の様子

「ひむか維森（いしん）の会」は、宮崎県の素材生産者により平成15年に設立の後、全国に先駆けて独自の『伐採搬出ガイドライン』等を策定し、社会的責任に答えられる『意欲と能力のある林業経営者』のモデルとなる取組を進めています。

研修会では、はじめに宮崎大学の藤掛講師から「再生林の課題」「再生林促進に向けて素材生産事業体に求められる役割」「宮崎県におけるCRL（責任ある素材生産事業体）認証制度の取り組み」についてご講演いただき、再生林の促進に向けて必要なこととして「目指すべき将来の人工林資源規模について地域で議論し、再生林の必要性について共通認識を（持つこと）」とお話をいただきました。

その後、林業事業体の代表も務める松岡講師及び山下講師より「ひむか維森（いしん）の会」における取り組みや運営方法、再生林に向けて林業事業体が担うべき役割等について、宮崎での事例を交えながらより具体的なお話をいただきました。今年度は、ガイドライン・CRL認証制度の普及のため、東北各地（秋田県・青森県・岩手県）を巡回しており、各地でモデル的取り組みやサミット等が行われることを契機として、さらに全国的に取り組みを展開させていきたいとのことでした。

続いて行われた「いわき市森林組合」の事例報告では、地域林業の活性化に向けて約6,800haの森林認証を取得したが、その資源をどう活用するかがこれからの課題であること、資源の活用に向けて推進会議を立ち上げるとともに、スマート林業への取り組みやサプライチェーンマネジメントの構築を図ることを目指しているとの報告をいただきました。

参加者へのアンケート調査の回答では「参考になった」との感想が殆どを占め、「主伐・再生林に取り組む上で、大変参考になる話が聞けた」「先進的取り組みが分かり参考になった」「講師3名の違った立場からの話が聞けた」「他県での取り組み、九州の実態を直接聞けたことが良かった」等様々な意見感想が寄せられ、充実した研修会となりました。

森林作業道作設研修会(初級・フォローアップ)を開催

効率的な素材生産システムの基盤である丈夫で簡易な森林作業道を作設するための初級研修と、更なる知識・技術の向上を図るためのフォローアップ研修を開催しました。

令和元年度は、初級研修8名、フォローアップ研修5名の計13名の方が修了されました。

森林作業道作設研修会（初級研修）

令和元年10月15日(火)から10月18日(金)までの4日間、いわき市を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修はいわき市内の私有地をお借りして行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏をお願いしてご指導をいただきました。

1日目（10月15日）午前：室内研修 渡邊氏による講義

テキストとして、主に「路網作設オペレーター養成事業研修教材森林作業道づくり2010」を使用して室内研修を行いました。

1. 森林内の道の種類
2. 森林作業道の特徴
(目的と機能、開設・維持・管理の主体、構造上の特徴)
3. 森林作業道のつくり方
(使用する機械、伐開、土工の基本技術、排水、洗い越し工、湧き水の処理、曲線部、簡易構造物等)
4. 安全管理と技術の向上 (安全管理、技術の向上)

1日目（10月15日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- ・作業道を作設する現場に向かい、現地踏査を行ったうえで、支障木の伐倒及び路線選定等を行いました。

2日目～4日目（10月16日～18日）現地研修

- ・バックホウを使用して、土砂の掘削や表土処理、伐根処理、路盤転圧等の基礎土工を行いました。

4日目（10月18日）午後：室内研修 意見交換、豊田氏によるアドバイス等

- ・田人町「おふくろの宿」研修室にて、豊田講師による講義や参加者による意見交換等、これまでの研修のまとめを行いました。



室内研修の様子



現地踏査の様子



バックホウを使用している作業実習



豊田講師からアドバイスを受けながら機械を操作し作設する



研修の様子（豊田講師による説明）



おふくろの宿研修室にて意見交換を行う

森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）

令和元年12月10日（火）から12月13日（金）までの4日間、いわき市を会場に開催しました。

室内研修は田人ふれあい館（田人公民館）研修室で行い、現地研修は関東森林管理局磐城森林管理署にご協力いただき、いわき市田人町内の国有林で行いました。

講師は、室内研修は一般社団法人フォレスト・サーベイの渡邊良範氏、現地研修は有限会社豊田林業の豊田新一氏にお願いしてご指導をいただきました。

1日目（12月10日）午前：室内研修 渡邊氏による講義

「路網作設オペレーター養成事業研修教材森林作業道づくり2010」及び「急傾斜地やぜい弱地等での森林作業道づくり2014」より抜粋して、室内研修を行いました。

1. 急傾斜地での基本土工及び応用土工、路線選定について
 - 基本土工：段切、段盛、転圧の重要性
 - 応用土工：基本土工だけでは作設困難な箇所での工法を説明（丸太組工、洗越し工、ヘアピンカーブの設計等）
2. 現地研修を行う斜面の状況、林況、作業システム等の説明
3. 路線選定（図上設計）
 - 基本図等を利用し、林況や作業システム等を考慮した設計を検討
 - 斜面全体を対象とする広範囲な計画を検討、等

1日目（12月10日）午後：現地研修 豊田氏による現地指導

- 現地踏査、支障木伐倒、路線選定を行い、急傾斜地におけるバックホウを使用しての作業道作設実習を行いました。

2日目（12月11日～13日）現地研修

- バックホウを使用しての急傾斜地における作業道作設実習、路線の安定確保のための丸太組工の作設実習を行いました。

4日目（12月13日）午後：室内研修 意見交換、豊田氏によるアドバイス等

- 田人町「おふくろの宿」研修室にて、豊田講師による講義や参加者による意見交換等、これまでの研修のまとめを行いました。



室内研修の様子



バックホウを使用しての作業実習



豊田講師のアドバイスを受けながら根株等の処理を行う



丸太組工の作設実習



完成した丸太組工



研修のまとめ、意見交換の様子

森林・林業担い手育成事業の実施

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

高校生に向けた資格取得の支援

令和元年12月9日(月)から10日(火)にかけて、福島県立会津農林高等学校において同校森林環境科2年生15名を対象に伐木等業務の特別教育の実施を支援しました。

併せて、労働安全衛生規則等関係法令の一部改正に伴い補講が義務づけられたことから、12日(木)に昨年度特別教育を受講した3年生(21名)を含めた36名で補講も実施しました。

◎(安全衛生教育)室内

林材業労災防止協会福島県支部の講師の皆さんにより、「チェーンソー作業の安全ナビ」のテキストを基に、室内の講義を行いました。

- ①伐木作業に関する知識 ②チェーンソーに関する知識 ③振動障害及びその予防に関する知識
④関係法令等

◎(安全衛生教育)屋外

学校の敷地を実習場所として、3班に分かれて実技を行いました。最初に、チェーンソーの操作の指導を受けた後、丸太切り(落とし切り・合わせ切り・突込み切りの3種類の切り方)、立木伐倒の受け口切り、追い口切りの操作を生徒全員が行い、ソーチェーンの目立てや毎日点検についても実習を行いました。



室内研修の様子



屋外での実技研修の様子



チェーンソーによる玉切りの実習



チェーンソーによる伐倒(受け口切り)の実習



ソーチェーンの目立ての実習



補講(チャプスの付け方実習)

◎アンケートの結果から

下表のとおり回答と意見感想をいただきました。注目すべき点は、今後、森林・林業関係で仕事をしてみたいと思ったかの問いに対し「はい」と答えた生徒が8割を超えていたことでした。

◆伐木等の特別教育を受けてみて、特に印象に残ったものは？(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|-----|
| ☐ 支援センターの取組紹介 | 1名 |
| ☐ 伐木作業に関する知識 | 3名 |
| ☐ チェーンソーに関する知識 | 2名 |
| ☐ 振動障害の知識 | 1名 |
| ☐ 実技：チェーンソーの操作 | 13名 |
| ☐ 実技：チェーンソーの整備 | 10名 |

◆今後、森林・林業関係で仕事をしたいと思ったか

- | | |
|------------------------------|-----|
| ☐ はい | 12名 |
| ☐ いいえ | 2名 |

◆今後、森林・林業関係でやってほしいことは？(複数回答可)

- | | |
|---------------------------------------|----|
| ☐ 現場での作業体験 | 3名 |
| ☐ 林業現場の見学 | 4名 |
| ☐ 製材工場・原木市場の見学 | 2名 |
| ☐ 地元の林業者の講話 | 4名 |
| ☐ 有名林業地の見学 | 5名 |

◆意見・感想等

- チェーンソー講習などは、なかなか受けられないので貴重な体験になった。
- チェーンソーの正しい使い方を知ることができて良かった。
- もう少し長く、詳しく知りたかった。
- 実技が難しかったが良い体験になった。
- 思ったより取扱いが難しかった。

森や木に関心のある女性に向けたイベントを開催

令和元年11月24日(日)、郡山市において「森林(もり)の恵みのリースづくり～針葉樹(フレッシュグリーン)と木の実を使ったリースづくりワークショップ～」イベントを開催しました。

これは、当協会が行っている森林・林業担い手対策事業の一つとして、森林や林業に興味関心のある女性に向けて森や木に関するイベント等を開催するもので、今年度は11月と3月に開催を予定しています。

今回は、福島市在住のフラワーデザイナー MIKI こと氏家幹子さんを講師に迎えて、郡山市のカフェ「もりのかぜ・らぼ」を会場に、生の針葉樹とドライ加工の木の実を使ったリースづくりワークショップを行いました。参加者は定員の16名(+お子様1名)、使用した生の針葉樹は福島市内のフラワーショップ cocoro にて、飾り・道具一式は郡山市内の横浜ディスプレイミュージアムにて準備いただきました。

はじめに、講師の氏家さんから作業の流れについて説明を受け、それぞれの針葉樹を適度な長さにカットする作業からスタート。切った針葉樹を、ワイヤーを使ってバランス良く土台に巻き付けます。今回は、リース用の針葉樹を4種類(ブルーアイス、クジャクヒバ、ヒムロスギ、ヒバ)、他に飾りとしてユーカリとサンキライを準備しました。



講師 氏家幹子さん



ワークショップの様子



ワイヤーを使って針葉樹を土台に巻き付けます

枝にハサミを入れた途端、針葉樹のフレッシュな香りが辺り一面に広がり、カフェは癒やしの空間に。香りも、葉の触り心地も色合いも針葉樹の種類により異なり、参加された方は、その違いを楽しみながら1本1本土台に巻き付け、一重二重と葉を重ねながら思い描くリースの形に近づけていきました。

土台ができたなら、続いて飾り付けを行います。今回は、生花に付けることができる接着剤を使って、生のリース素材にドライの木の実を飾り付けしました。松ぼっくりやスターアニス、どんぐりや白く可愛いブナの花を飾り、さらにサンキライの赤い実と、雪にみたてた綿の実を飾り付けると一気に華やかになり、リースが完成しました。



お母さんと一緒にお子様も参加、素敵なリースが完成しました



完成したリース!みんなで見て歩きました



作ったリースを手にした集合写真

もりのかぜ・らぼさんの植物に囲まれたあたたかく素敵な空間と、氏家さんの明るく飾らない人柄に助けられ、楽しく充実したイベントとなりました。女性に向けたイベントも回を重ね、参加が2回目以上という方も多くなり、イベントそのものが少しずつ定着している様子も感じることができました。

今回のワークショップは関係者の協力のもと「作る、香る、飾る」の3つの楽しさを参加者と共有することができ、今後も、それぞれの日々の暮らしの中で、森や木に関わるモノ・コトを積極的に取り入れて、楽しんでいただけることを願います。

トピックス

〈共同改善計画に伴う委託募集について〉

「林業労働力の確保の促進に関する法律」等により、事業主の管轄ハローワーク以外にも募集活動地域を広げて、求職者へのアピール度を高めるため、事業主と支援センターが共同で改善計画の認定を受けた場合、事業主からの委託を受けて募集を行うことができます。

本県では、共同計画を立てている磐城林業協同組合の中の9事業体が募集を行うこととして、支援センターは厚生労働大臣に届け出て、令和2年1月1日から6月30日までの期間で、20名の募集を行います。

(詳しくは、本協会のホームページで検索)

福島県認定林業事業体一覧表(流域別)

令和2年2月5日現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	安田林業(株)	安達郡大玉村大山字宮ノ前21	0243-68-2220
5	浜崎製材(株)	本宮市高木字猫田46-2	0243-33-4400
6	(有)斎一林業	福島市小倉寺字敷ヶ森9-11	024-523-4305
7	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
8	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
9	(有)ネイチャーリバイブ	須賀川市滝字前田40	0248-67-2856
10	田村森林組合	田村市常葉町西向字ヶ入62-7	0247-67-1101
11	(株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
12	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
13	アブクマエコロジー(有)	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹ノ内36-6	0247-57-4111
14	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
15	(有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
16	(株)サンライフ	石川郡古殿町大字松川字陣場7-1	0247-53-4727
17	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
18	嵐ミツマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
19	(株)出田創業	白河市大信下小屋字宮沢144	0248-21-6560
20	白米林業企業組合	白河市市会津町93-8	0248-29-8991
21	西白河地方森林組合	白河市市旭町1-244-1	0248-24-1037
奥久慈流域			
22	(有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
23	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
24	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
25	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
26	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
27	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
28	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
29	(株)武農林商会	東白川郡塙町大字上井字胡桃下53	0247-43-4283
30	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
31	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兎田44	0247-42-2409
32	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
33	(有)本郷林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草298-1	0247-49-2420
34	(有)諸橋林業	東白川郡鮫川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
会津流域			
35	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
36	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
37	(株)山空林業	会津若松市日新町15-44	0242-85-6627
38	会津北部森林組合	喜多方市市舞台田3128-8	0241-22-1136
39	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021

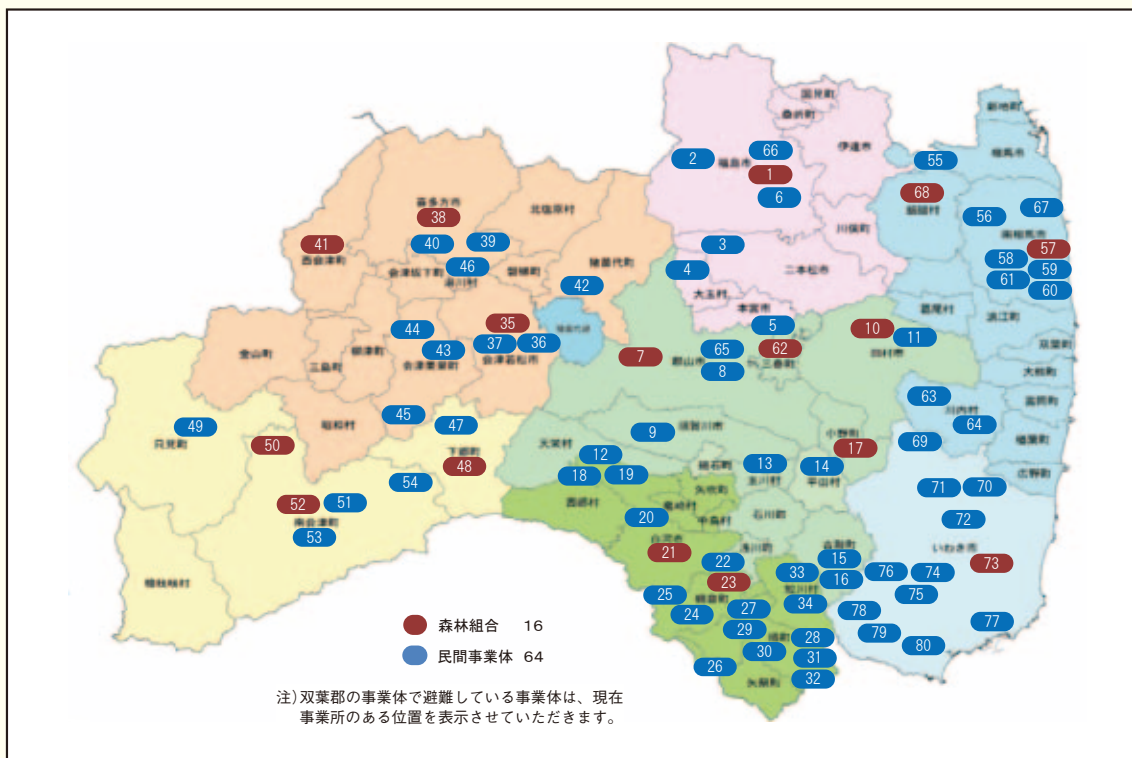
番号	事業体の名称	所在地	TEL
40	6 (株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
41	7 西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
42	8 (有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
43	9 栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
44	10 会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408
45	11 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
46	12 (株)桜林業	河沼郡湯川村佐野日宮前丙79	0241-27-5310
47	13 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
48	14 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
49	15 (株)ヤマイシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
50	16 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字田中1283-3	0241-82-3120
51	17 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
52	18 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
53	19 (株)館岩工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
54	20 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
55	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
56	2 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
57	3 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
58	4 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
59	5 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
60	6 中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
61	7 ㈱ガイワーク東北支店	南相馬市原町区馬場字切付69	0244-32-1027
62	8 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡二春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
63	9 (株)緑樹	双葉郡川内村下川内字松川原46-4	0240-25-8806
64	10 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
65	11 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
66	12 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
67	13 (有)山英林業	南相馬市鹿島区小池字新山70	0244-46-3699
68	14 飯館村森林組合	相馬郡飯館村草野字本町83	0244-42-0055
69	15 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
70	16 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
71	17 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
72	18 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
73	19 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
74	20 (株)長山	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
75	21 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
76	22 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
77	23 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
78	24 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
79	25 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
80	26 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

【認定林業事業体とは】

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画（改善計画）」（5年間）を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

福島県認定林業事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧

(R 2. 2. 5 現在)

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
阿武隈川流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
1	福島県北森林組合	22	(有)東白林業	35	会津若松地方森林組合	55	松山林業(有)	69	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	23	東白川郡森林組合	36	(有)佐藤林業	56	(有)国見グリーンパワーズ	70	國生興産(有)
3	(有)武田林産	24	(有)陣野林業	37	(株)山空林業	57	相馬地方森林組合	71	(有)中崎林業
4	安田林業(株)	25	(有)スズキ木材	38	会津北部森林組合	58	(有)鈴木林業	72	(有)松本林業
5	浜崎製材(株)	26	(有)田部林業	39	(有)斉藤造林	59	千葉製材所	73	いわき市森林組合
6	(有)斎一林業	27	協和木材(株)	40	(株)ノーリン	60	(有)中川木材	74	(株)長山
7	郡山市森林組合	28	(有)いしぐろ	41	西会津町森林組合	61	(株)ガイアワーク東北支店	75	遠野興産(株)
8	(株)アメリカ屋	29	(株)武農林商会	42	(有)六和林業	62	双葉地方森林組合	76	(有)平子商店
9	(有)ネイチャーリバイブ	30	真名畑林業(有)	43	栗城林業(株)	63	(株)緑樹	77	常磐林業(株)
10	田村森林組合	31	(有)ウッド福生	44	会津西部林業(有)	64	(有)志賀林業	78	(有)井出林業
11	(株)クライス	32	(株)池田林業	45	(有)川島林業	65	吉田林業(株)	79	(有)豊田林業
12	(有)大須賀林業	33	(有)本郷林業	46	(株)桜林業	66	(有)ハヤマ森業	80	(有)近野林業
13	アブクマエコロジー(有)	34	(有)諸橋林業	47	(有)共和林業	67	(有)山英林業		
14	(有)松崎産業			48	下郷町森林組合	68	飯館村森林組合		
15	(有)鈴木商事			49	(株)ヤマシ				
16	(株)サンライフ			50	只見町森林組合				
17	ふくしま中央森林組合			51	佐藤造林				
18	株式会社ヤマグリーンプロジェクト			52	南会津森林組合				
19	(株)出田創業			53	(株)館岩工務所				
20	白栄林業企業組合			54	山星林業(株)				
21	西白河地方森林組合								

令和2年2月発行

発行：公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会 福島県林業労働力確保支援センター
〒960-8043
福島県福島市中町5番18号(林業会館内) TEL: 024-521-3270 FAX: 024-521-3246
メール: fukusien@violin.ocn.ne.jp ウェブサイト: <https://www.fukurin-net.jp/?cat=3>

